

第102回 二科展 鹿児島巡回展

鹿児島県歴史資料センター黎明館
2018年3月10日～18日

鹿児島での開催が68回目となる第102回二科展巡回鹿児島展は、地元作家の作品を含む絵画、彫刻、写真、デザインの作品300点(絵画110、彫刻10、デザイン90、写真90)が展示され、盛大に開催されました。来賓に加え、

松陽高校美術科のみなさんを招いてのオープニングでは前田支部長が「若い世代が新しい挑戦をしている展覧会」と挨拶し、初日から多くの美術ファンで賑わいました。また、会中には会員・会友・同人によるギャラリートークを行い、それぞれ特徴のある内容でお客様に楽しんでいただけました。開場の一角には2月に逝去された故有水基雄会員に作品を展示し、在りし日の姿を鑑賞者とともに偲びました。他に支部同人の小品作品のチャリティ販売を行いました。毎年、観覧して下さっている方々にはすっかり定着している様子が伺えました。一方、担当者から役割分担や会場サインなど、全体を見渡しながらの細かな指示や準備があり、支部同人全体の協力によってスムーズな運営がなされました。

昨年より1日短い会期であったにも関わらず、入場者はほぼ横ばいの3049人～鹿児島の春の風物詩ともいえる巡回展ですが、さらに充実した展覧会となるよう今回の課題を整理して次回につなげていきたいと思ひます。

●ギャラリートーク

- ①3月10日(土) 10:00～西
- ②3月11日(日) 14:00～前田・石原・伊東
- ③3月17日(土) 14:00～米田・野平・源川
- ④3月18日(日) 14:00～餅原・海老原・久保



故有水基雄会員の遺作展示



開場式での支部長挨拶



初日、会場風景



初日、会場風景



初日、会場風景



ギャラリートーク



彫刻部展示



デザイン部展示



写真部展示



チャリティ作品展示